

平成25年3月26日
 国立大学法人 山梨大学

基幹事業：災害時インフラネットワーク維持施策

【成果の概要】

山梨県内の災害時における道路ネットワークの維持を図る施策に関し、県内の緊急輸送道路ネットワークを対象に、防災拠点間の確実な連携を図る上で、災害時でも道路が寸断されないよう優先的に橋梁の耐震化を行うべき重要区間を提示しました。

※防災拠点：防災関係機関や救急医療機関、災害時の物資輸送に関連する拠点など「山梨県緊急輸送道路ネットワーク計画」に示されている県内302施設。

※重要区間：複数拠点間を最短経路で結ぶ場合の通行頻度の高い区間を抽出しました。

【今後の展開】

- (1) 今回の成果を踏まえ、県とともに緊急輸送道路の橋梁について、耐震化の優先度を検討します。
- (2) 今回の最短経路の考え方に加え、寸断が起こったとしても代替りのルートが存在するか（代替性）など他の観点を加えた検討を継続して実施します。

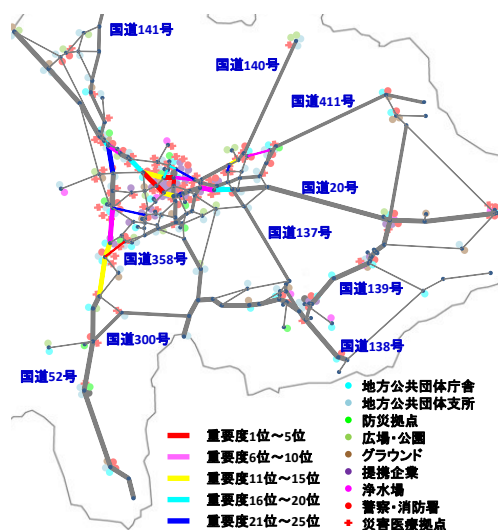


図 重要区間抽出結果